


## 2年 授業実践




### 1 主題名・教材名 友だちを思って、なかよく B 友情、信頼

「およげないりすさん」出典：「小学どうとく2 はばたこう明日へ」（教育出版）

### 2 本時のねらい りすさんを仲間はずれにしてしまった3人がどうしたらよかったのかを考える学習を通して、友達を思い、どのようにつき合ったらよいか判断力を育てる。

### 3 展開

段階	○学習活動と主な発問	・予想される児童の反応	・指導上の留意点 ○評価	時
導入	○友達に関するアンケートを提示する。	・友達の気持ちを考えられていると思っていたけど、違うのかな。	・事前のアンケートの結果を提示し、本時のねらいの方向付けをする。	5
展開	○条件・状況を知る。 		・3匹は島で遊ぶことをとても楽しみにしていることを伝える。	25
	○教師のパネルシアターを聞く。 ○心に残ったところを出し合う。	○登場人物 りすさん あひるさん かめさん 白鳥さん ○条件・状況 あひるさん、かめさん、白鳥さんが池の中の島へ行って遊ぶ相談をしていた時、りすさんも仲間に入れてとやってくる。  ・りすさんを断ったところ。 ・島で遊んでいても楽しくないところ。 ・最後にみんなで島にむかったところ。	・黒板を活用したパネルシアターで、4匹の登場人物の関係と話の内容を理解しやすくする。	
	1 「およげないからだめ」といった時、どんな気持ちだったでしょうか。			
(補) 断られたりすさんは、どんな気持ち？	・泳げないりすさんは、無理だよ。 ・泳げないから仕方ない。 ・また、今度ね。  ・悲しい。 ・遊びたかったな。 ・仲間外れにされた。	・いじわるで断ったわけではないが、そのことがりすを悲しませたことに気付かせるようにする。		
2 あそんでいても少しも楽しくない3びきは、どんなことを考えたでしょうか。	・やっぱり断らなければよかったね。 ・りすさん、今頃何してるかな。 ・りすさん、泣いてるかな。 ・船を探せば一緒に来られたかも。 ・りすさんに泳ぎ方教えてあげようよ。 ・浮き輪をつけて引っ張ってあげよう。	・どんなことを考えたかを、考えやすくするために、役割演技を取り入れる。 ・反省のみの発言になる場合は、「では、どうすればよかった？」等の発問をして、ど		

<p>なんでそこまでして、りすさんを連れて行こうと思うの？</p> <p>仲良しの友達だから一人でもないと楽しくない。</p>		<p>う接すればよいかについて考えられるようにする。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・行動を答えた児童に対しては、なぜそう考えたのかを問うことで、行動の奥にある気持ちを明らかにしていく。</li> </ul>
<p>3 りすさんといっしょに島に向かう3びきは、どんな気持ちでしょうか。</p>		
<p>(補) りすさんは、どんな気持ち？</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・やっぱりみんながいいね。</li> <li>・一緒に行けてよかった。</li> <li>・みんなで、いっぱい遊ぶぞ。</li> <li>・うれしいな。</li> <li>・みんなありがとう。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・3匹とりすの気持ちを考えさせることで、友達を考えた行動のよさを感じられるようにする。</li> </ul>
<p>○今までの自分を振り返り、分かったことや思ったことを書く。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・簡単に断るんじゃなくて、どうにかできないかと考えるようにしたいよ。</li> <li>・一人ひとりを大切にしたいな。</li> <li>・悲しい思いをする友達がでないようにしたいな。</li> </ul>	<p>10</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ワークシートを活用することで、自分自身についてじっくりと考えられるようにする。</li> <li>○今までの自分を振り返り、友達を思い、どのように付きあったらよいかを考えているか。(ワークシート・発言)</li> </ul>
<p>今までよりも、もっと友達のことを考えていきたい。</p>		<p>友達の気持ちをここまで考えていたかな？</p>
<p>終末</p> <p>○クラスの友達と活動している写真を見る。</p>		<ul style="list-style-type: none"> <li>・日頃の生活を振り返り、友達を思い、仲良くすることへの意欲付けをする。</li> </ul> <p>5</p>

#### 4 授業の成果(○)と課題(●)

- パネルシアターで注目させたいところを強調したり、条件・状況を理解させたりすることができた。
- なぜそう思ったのかを切り返すことで、行動の奥にある気持ちを引き出した。
- 事前にとったアンケート結果から児童の実態に合わせてねらいを決めたり、終末にアンケートに戻ることで、児童が自分事として考えたりすることができた。

●判断力を育てるという目標だったが、そこに達するまでの価値づけが難しかった。

#### 5 指導講評(越谷市教育センター指導員 藤澤 由紀夫 先生)

- ・アンケートとのギャップから自分事として考えられ、主人公や相手の気持ちも確認しながら進められていた。
- ・パネルシアターにすることで考えやすかった。コメントをつけるとさらに考えやすくなる。
- ・授業のねらいはあるが決意をさせず、思ったことや感じたままに振り返りをできた。
- ・クラスの実態を一番に知り、実態に沿った工夫、楽しさがあるといい。